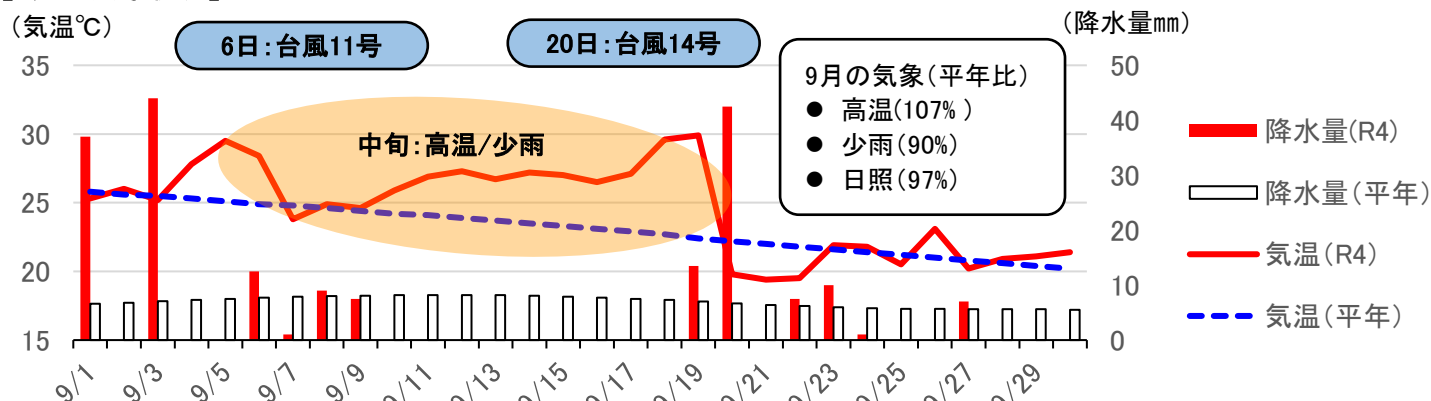


予冷库・選果場だより No.5

ほうれん草専門部会・トマト専門部会
キュウリ専門部会・ミディマト専門部会・タマネギ部会

9月上旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、その後は、高気圧に覆われ晴れて、暖かい空気が流れ込み気温も平年より高い日が多くなりました。なお、この期間、台風第11号と台風第14号の影響で大雨や大荒れとなった日がありました。青果物の出荷状況は、ほうれん草の出荷が減少、小松菜の出荷が増加しました。予冷库・選果場の主要品目について、集荷状況を報告を致します。

【9月の気象状況】



1. 予冷库・選果場稼働状況(9月実績)

9月の出荷量は、軟弱類(葉菜)は、小松菜の出荷が増加し前年並みの集荷重量となりました。果菜類(抑制キュウリ)の選果開始により、荷受重量が増加しました。

地区	施設区分	R3		R4		前年比	
		荷受重量(kg)	販売金額(円)	荷受重量(kg)	販売金額(円)	荷受重量(kg)	販売金額(円)
北部	予冷库	5,305	1,972,448	1,254	827,593	23.6%	42.0%
中央	予冷库	18,524	13,684,888	18,346	8,903,868	99.0%	65.1%
	選果場	18,162	6,634,636	18,812	4,872,258	103.6%	73.4%
西部	予冷库	1,031	1,007,056	881	845,164	85.5%	83.9%
合計		43,040	23,317,108	39,293	15,448,883	91.3%	66.3%

3. 選果場稼働実績

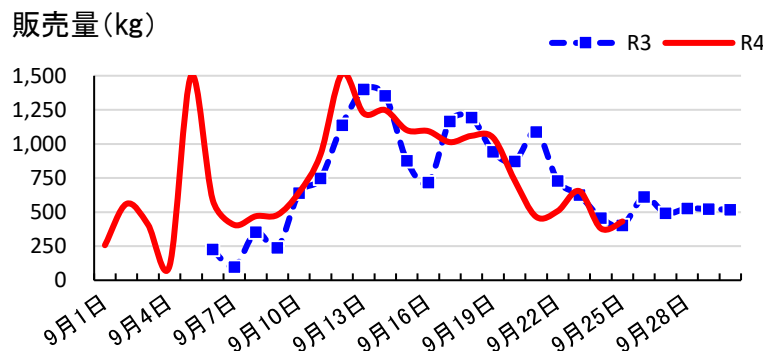
キュウリ

9月の実績は、販売数量18.8t(前年比105%)、販売高4,872千円(前年比75%)でした。抑制栽培のキュウリは12月まで選果予定です。

【市場情報】

福島県産の入荷があるが数は横ばい状態。品質は良い。10月上旬に単価が跳ね上がったが現在は落ち着き今後は保合見込み。

等級/階級	2L	L	M	S	合計
秀	290	2,284	2,395	85	5,053
優	1,298	3,804	7,494	139	12,735
良			1,024		1,024
計	1,588	6,087	10,913	224	18,812



ミディマト

9月の実績は、販売数量881.2kg、販売高845千円でした。ミディマトの選果場は、10月14日で終了しました。

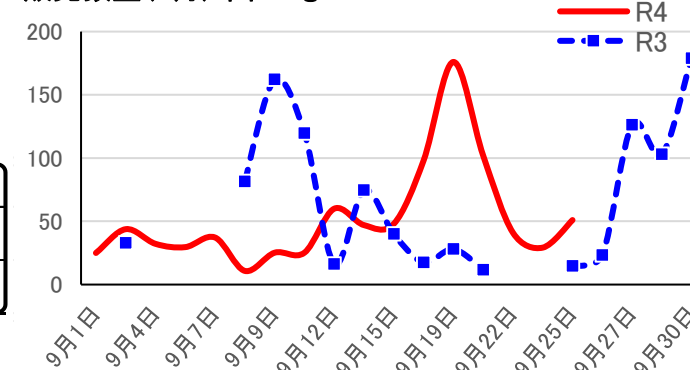
【市場情報】

北海道産、茨城県産、愛知県産を中心に入荷があり、今後は熊本県産の大量入荷が大半を占めてくる。福井県産は出荷が少なく売り場としては閉塞している。

販売数量(9月)単位:kg

等級 階級	2L	L	合計	前年比
	40.2	841.0	881.2	85.5%
秀				

販売数量(9月)単位:kg



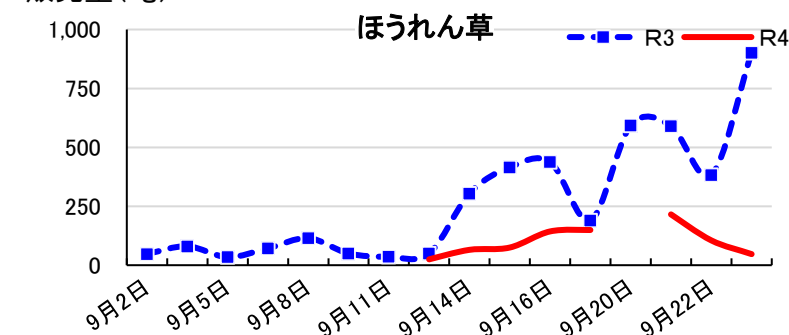
4. 予冷库稼働実績

9月の『ほうれん草・小松菜・ミズナ』実績は、販売数量17.9t(前年比99.5%)販売高8,641千円(前年比64.2%)でした。9月は、ほうれん草の出荷減を小松菜の出荷増で補いました。

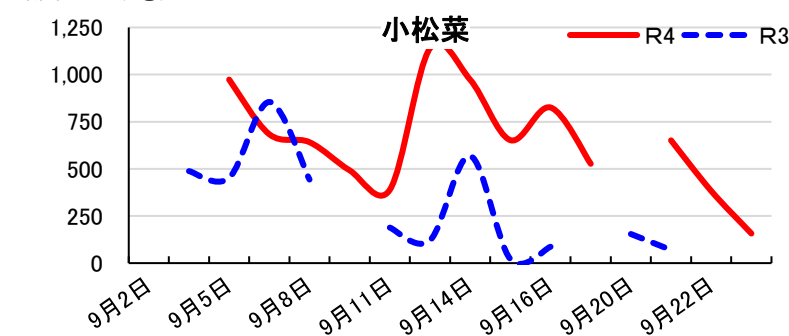
販売数量(9月)単位:kg

品目名	R3	R4	前年比
ほうれん草	8,214	2,233	27.2%
小松菜	4,469	11,176	250.1%
みず菜	5,373	4,570	85.1%

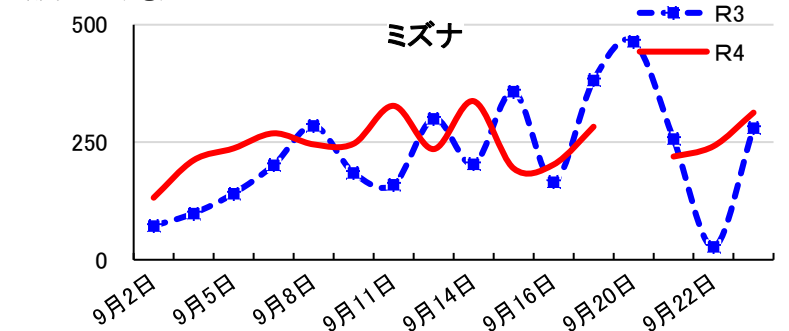
販売量(kg)



販売量(kg)



販売量(kg)



【市場情報】

大阪本場における10月単月でのほうれん草の入荷数量は180t(前年比67%)、単価834円/kg(前年比133%)です。10月18日単日で見るとほうれん草の入荷数量は10.2t(前年比52%)、単価724円/kg(前年比130%)で推移しています。販売状況は、少しずつ気温が下がってきた事から各産地生育回復して入荷数量は増加傾向、量販店の売り込み強化で荷動きはますます。

【ほうれん草】

岐阜県産や静岡県とも潤沢な出荷が見られ品質も良い。気温が下がってきたので少しずつではあるが葉物や秋冬野菜の需要も伸び、今後は物流が良くなり強含み。

【小松菜】

10月に入り市況は乱高下を繰り返したが、今後は横ばい見込み。

【ミズナ】

外食や旅館関係での鍋需要が高まりつつあり、今後は堅調な見込み。